

国際間貿易交渉と関税政策



日時：2015年1月22日 木曜日 14:40

場所：大阪大学大学院 国際公共政策研究科(OSIPP)棟 6F 会議室

参加申込：forum2014@osipp.osaka-u.ac.jp へてに、

氏名・所属・連作先を明記の上 1/21 までにお送りください。

【講演者】 後藤真一氏<大阪税関長>（財務省関税局審議官などを歴任）

<http://sankei.jp.msn.com/west/westlife/news/140711/wlf14071123190026-n1.htm>

【演題】 「貿易環境の変化と日本の関税政策」

【概要】 我が国を取り巻く国際環境の変化に伴い、日系企業の海外進出が拡大し、外国間取引も含めたビジネス形態の多様化が急速に進展しています。

また、貿易政策もマルチ交渉からバイラテリズムやリージョナリズムの方向になり、個別の自由貿易協定や経済連携協定が締結され原産地規則の多様化等様々な貿易ルールが複雑化してきています。

一方、政府の成長戦略・経済政策関係では外国人観光客を2030年までに3千万人まで増やすという観光立国実現が閣議決定されており、税関は業務を効率化する一方でどのようにして本来の使命を果たしていくかということが問われています。

このような状況の中、財務省関税局・税関においては、積極的に種々の貿易円滑化に向けた取り組みを実施しており、EPA交渉内容とともに、これら諸施策についてご紹介したい。

【トピック】 貿易動向（全国／近畿圏）

貿易円滑化についての取組み（EPA交渉、税関の国際協力・技術協力）

WTO（世界貿易機関）とWCO（世界税関機構） など。

主催：大阪大学大学院国際公共政策研究科

後援：新日本パブリック・アフェアーズ株式会社